

江戸川区の共生社会ホストタウン 活動計画

パラスポーツ先進国であるオランダとの連携事業や、これまでのまちづくりで培った障害者団体とのネットワークなどを活用して、障害理解を深め、障害者の社会参加を促進していく。本活動計画を広く区民に知らせるとともに、区民と一体となって、「だれもが安心して自分らしく暮らせるまち」の実現を目指す。



ユニバーサルデザインのまちづくり

◇障害当事者とともにつくるまちづくり

- 障害者団体、Game Changer Project関係者と連携したバリアフリーマップの作成・改良
- 「ゼロ段差擦り付けブロック」の設置



◇未来に向けたまちづくり

- 共生社会推進に関する庁内情報共有機会の創出
- バリアフリー法に基づくマスタープランや基本構想の検討着手

障害者のスポーツ環境の向上

◇魅力ある公共スポーツ施設の整備

- スポーツセンター、陸上競技場等のバリアフリー化工事の実施

◇人材の育成

- 障害者スポーツ指導員を「えどがわパラスポアンバサダー」として登録（現在112名）し、障害者のスポーツ支援に活用
- オランダの「スポーツサービスポイント」を参考に、パラスポーツに関する相談機能を区内スポーツ施設7か所に創設
- 障害者が通年でパラスポーツに参加できるスポーツクラブ「オランダクラブ“Be Creative!”」を総合体育館に開設

◇パラアスリートを対象としたスポーツ活動支援

- 寄付金を原資とし、パラリンピック等を目指すアスリートを資金面から支援【スポーツ夢基金事業：延べ45名・2996万円/4カ年】

心のバリアフリー

◇オランダに学ぶ共生社会“Game Changer Project”

- オランダのパラアスリートや指導者との交流機会の創出
⇒対象：小中学生、特別支援学校（生徒・教師）、障害者スポーツ指導員、理学療法士を志す専門学生 等

【交流実績】

2017年度：パラスポーツイベント来場者	1,000名
2018年度：特別支援学校、指導者等	116名
2019年度：小学校、特別支援学校等	472名



◇スポーツを通じた障害理解の促進

- 多様な主体を対象とした「ボッチャ」体験会の開催
⇒未就学児（発達障害）、小中高高校生、重度障害者、高齢者 等
- 区内に専用施設がある「パラバドミントン」をわがまち競技とし、アスリートによる体験会や大会応援バスツアーを開催
- オランダ発祥のユニバーサルスポーツ「コーフボール」の体験教室を開催。2019年度、漫画を作成し競技の魅力をもPR・普及促進

◇先駆的な手法を用いた取組

- 東京62区市町村で唯一の障害者スポーツ専管組織の設置
昨年度はパラスポーツ啓発事業：28回/8,967人、体験教室事業：42回/1,313人、人材育成事業：15回/753人に実施
- カーディナーや専門学校と連携したパラスポーツ振興
- パラスポ漫画をアニメ専門学校と連携して制作し、毎年4,400部を印刷し、小中学校や病院・薬局等に配布
- 都内自治体で初となる「手話言語条例」の制定
- 障害の有無を問わず集える拠点「なごみの家」の設置

